

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	越谷保育専門学校
設置者名	学校法人 ワタナベ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
教育・社会福祉 専門課程	幼稚園教諭保育士養成学科	夜・通信	54単位	7単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	越谷保育専門学校
設置者名	学校法人ワタナベ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	私立大学教授	R7年度定時評議委員会 終結の時（令和7年6月9日14時）から R10年度定時評議委員会 終結の時（令和10年6月頃）	法の遵守を基本に経営機能の強化に多様な意見を求める。
非常勤	（前職） 一般社団法人 事務局長	同上	専門的な実務経験から、法人のコンプライアンス強化に多様な意見を求める。
非常勤	私立大学教授	同上	専門的な実務経験から、幼児教育の強化に多様な意見を求める。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	越谷保育専門学校
設置者名	学校法人 ワタナベ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1月 教務部のシラバス担当者が授業担当者にシラバス作成を依頼。 2月中旬 授業担当者がシラバスを教務部のシラバス担当者に提出。 教務部のシラバス担当者が授業担当者の作成したシラバスを確認。 2月下旬 シラバス原稿を印刷業者に入稿。 3月下旬 納品。 4月 オリエンテーションで学生に配布とともに、本校のホームページに公表。</p> <p>シラバスには、授業形態、単位数、開講時期、(卒業・資格・免許)要件、授業の概要、キーワード、一般目標、到達目標(行動目標)、授業計画とその計画の際の授業外学習及び準備等、評価内容・方法、使用教科書、参考図書、学生へのメッセージ、履修上の注意が記載されている。</p>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>評価の方法はシラバスに表示してある通り、定期試験、授業内小テスト、レポート、発表、作品・課題、授業参加度の6項目を合計100点になるように点数の割合(%)を示しその合計点数をあらかじめ設定している成績の評価基準に合わせて厳格かつ適正に履修認定している。</p> <p>成績の評価基準はS:100~90点、A:89~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59点以下または出席日数不足。 C以上の成績を取ることが単位の修得となる。 また、授業回数の2/3以上出席することが単位修得の前提条件で、2/3に満たなかった場合はDとなり、単位は修得できない。 尚、成績の評価基準は学生便覧により学生に示している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では GPA 制度を導入し、あらかじめ次のように算出方法を定め実施している。 ・履修した授業科目ごとの成績を次のようにG Pを定め、単位修得した授業科目の単位数を掛けて合計した数値を全履修単位数で割って GPA を算出する。 <p>それぞれの成績のG Pを次のように定める。 S = 4.0 A = 3.0 B = 2.0 C = 1.0 D = 0</p> <p>G P Aの算出方法は次の通りとする。</p> $\frac{\text{(単位修得した科目の単位数} \times \text{その科目のG P)}}{\text{履修した単位数}}$ <p>※既修得として認定した科目の単位は含まない。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・ディプロマ・ポリシー</p> <p>次の学生像を保育者育成の方針とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 愛情を持って共に学び、豊かな人間性を身につけている。 (2) 責任感を持って何事にも向き合い、規律ある態度を身につけている。 (3) 保育への理解を深め、課題を持って実践することができる。 <p>課程修了の認定は規定する履修方法により単位を修得した者について教職員会議の議を経て校長が行う。</p> <p>課程の修了に必要な単位</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養科目については9単位以上とする。 ・専門教育科目については73単位以上とする。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	越谷保育専門学校
設置者名	学校法人 ワタナベ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php
収支計算書又は損益計算書	https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php
財産目録	https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php
事業報告書	https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php
監事による監査報告（書）	https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	幼稚園教諭 保育士養成学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	82 単位	39 単位	48 単位	10 単位	0 単位	1 単位	98 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人		112 人	0 人	11 人	25 人	36 人		
(備考) (任意記載事項)								

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）	
1月	教務部のシラバス担当者が授業担当者にシラバス作成を依頼。
2月中旬	授業担当者がシラバスを教務部のシラバス担当者に提出。 教務部のシラバス担当者が授業担当者の作成したシラバスを確認。
2月下旬	シラバス原稿を印刷業者に入稿。
3月下旬	納品。
4月	オリエンテーションで学生に配布とともに、本校のホームページに公表。
シラバスには、授業形態、単位数、開講時期、(卒業・資格・免許)要件、授業の概要、キーワード、一般目標、到達目標(行動目標)、授業計画とその計画の際の授業外学習及び準備等、評価内容・方法、使用教科書、参考図書、学生へのメッセージ、履修上の注意が記載されている。	

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校では GPA 制度を導入し、あらかじめ次のように算出方法を定め実施している。 ・履修した授業科目ごとの成績を次のように G P を定め、単位修得した授業科目の単位数を掛けて合計した数値を全履修単位数で割って GPA を算出する。 <p>それぞれの成績の G P を次のように定める。 S = 4.0 A = 3.0 B = 2.0 C = 1.0 D = 0</p> <p>G P A の算出方法は次の通りとする。</p> $\frac{(\text{単位修得した科目の単位数} \times \text{その科目の G P}) \text{ の合計}}{\text{履修した単位数}}$ <p>※既修得として認定した科目の単位は含まない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマ・ポリシー <p>次の学生像を保育者育成の方針とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 愛情を持って共に学び、豊かな人間性を身につけている。 (2) 責任感を持って何事にも向き合い、規律ある態度を身につけている。 (3) 保育への理解を深め、課題を持って実践することができる。 <p>課程修了の認定は規定する履修方法により単位を修得した者について教職員会議の議を経て校長が行う。</p> <p>課程の修了に必要な単位</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教養科目については 9 単位以上とする。 ・専門教育科目については 7 3 単位以上とする。
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クラス担任制 有 ○ 個別相談・指導等の対応 <p>担任が定期的に個別面談を行う。毎日の欠席状況を把握し、欠席の多くなっている学生には教員間で連絡を取り合い、担任から学生及び保護者への電話連絡等を密に行う。状況に応じては保護者にも来校を促し、カウンセラーや担当者が面談を行う。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43人 (100%)	0人 (0%)	43人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 保育園（所）、幼稚園、認定こども園、障害福祉サービス事業所、障害者支援施設 児童養護施設、児童発達支援事業所			
（就職指導内容） 幼稚園・認定こども園、保育所、施設等の事業内容や勤務形態等の特色を周知する機会を増やし、学生の個性や勤労意欲に合致した就職先を選ばせる指導に努める。またネットで求人票を閲覧できるなど工夫している。今後も学生の利便性を高める改善に努める。学生への求人票の提示の際には信頼できる就職先を紹介するようにしている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 幼稚園教諭二種免許、保育士資格、おもちゃインストラクター 幼児体育指導者			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
113人	8人	7.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更・学業不振・教育資金不足・学校生活不適應・学習意欲の欠如		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任が定期的に個別面談を行うとともに、心理カウンセラーも相談に応じている。担任は毎日の欠席状況を把握し、欠席の多くなっている学生については出身高校からの情報も収集し、職員会議や朝会などに教員間で情報を共有している。担任から学生及び保護者への電話連絡等を密に行うことで、家庭の協力をお願いしている。状況に応じては保護者にも来校を促し、カウンセラー等も面談を行い、適切に指導を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
幼稚園教諭 保育士養成学科	250,000 円	700,000 円	300,000 円	施設設備費 180,000 円 実習費 80,000 円 設備維持費 40,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<p>授業料等減免制度としては、在校生・卒業生家族減免、附属幼稚園家族減免、法人設置専門学校卒業生減免、指定校入試減免、スカラシップ A0 入試減免、短大・大学減免、社会人減免、保育関係資格免許所有者減免を設けている。また、附属幼稚園への就職内定者には在学学生減免制度がある。授業料等分納・延納制度を設けており、有効に利用する学生がいる。</p>				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php (ページ下部の「自己評価報告書」内に各年度の報告書を掲載)
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>・基本方針</p> <p>企業等との密接な連携により、最新の実務の知識等が身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組んでいることが評価され、平成27年2月に文部科学大臣から「職業実践専門課程」の認定を受けている。これより、実践的な職業教育を一層推進すべき新たな時代を迎えた。学校関係者評価を学校運営に取り入れ、改善工夫実践する。</p> <p>・主な評価項目</p> <p>「教育理念・目的・育成人材像」「目標の設定・教育方法・評価等・成績評価・単位認定等・資格・免許取得の指導體制運営方針」「教員・教員組織・事業計画・運営組織・人事・給与制度・意思決定システム・情報システム」「就職等進路・就職率・資格・免許の取得率・卒業生の社会的評価」「学外実習、インターンシップ等・防災・安全管理」「学生募集活動・入学選考・学納金」「学校評価・教育情報の公開」</p> <p>・評価委員会の構成</p> <p>委員の人数 7名 選出区分</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 本校の卒業生、保護者、地域住民等(2) 専攻分野に関する企業、関係施設、関係団体等の役職員(3) 専攻分野に関する学会や学術機関等の有識者(4) 専攻分野に関する地方公共団体等の職員、高等学校の校長等(5) その他校長が必要と認める者 <p>・評価結果の活用方法</p> <p>学校関係者評価結果を踏まえて、学校関係者委員と本校教職員とが課題を共有し、HPに公表する。さらに、校内関係の委員会や分掌組織で検討、協議を行い、運営委員会で協議を重ね、教職員会議を経て、校長が、決裁し改善できるものから随時実施改善する。年度末に、次年度へ課題の改善点をまとめ、年度当初時に、校長より、学校の目標や日々の指導について、学校運営に活用し、改善を図り随時推進している。</p>

第三者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人ひらく会 こども食堂とづか NPO 法人 子どもの居場所づくり	令和8年4月1日 ～令和10年3月31日	学識経験者
株式会社クラブキッズ NPO 地域こども包括支援センター	令和8年4月1日 ～令和10年3月31日	関係施設役職者
学校法人 植竹学園 理事長	令和8年4月1日 ～令和10年3月31日	関係施設長
株式会社みらいコンチェルト 代表取締役	令和8年4月1日 ～令和10年3月31日	本校卒業生
十文字学園女子大学 教育人文学部 幼児教育学科 准教授	令和8年4月1日 ～令和10年3月31日	指導大学
埼玉県立越谷東高等学校長	令和8年4月1日 ～令和10年3月31日	教員機関
元埼玉吉川市立中央中学校長 吉川市教育委員会 スクールソーシ ヤルワーカー	令和8年4月1日 ～令和10年3月31日	教員機関
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php (IX. 学校評価 1. 学校関係者評価の結果 に掲載)		
(備考)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.koshigaya-hoiku.ac.jp/school/info.php
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H111322200014
学校名 (〇〇大学 等)	越谷保育専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人ワタナベ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		30人（ 19 ）人	22人（ 15 ）人	30人（ 19 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	（うち多子世帯）	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	（うち多子世帯）	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
	（うち多子世帯）	-	-	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	-	-	
区分外（多子世帯）	-	-		
家計急変による 支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				30人（ 19 ）人

(備考)

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	-
修得単位数が「廃止」の基準に該当		0人	-
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況		0人	-
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	
	0人	0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1		0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当		0人	-
GPA等が下位4分の1		0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況		0人	0人
計		0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。